

宮代町郷土資料館だより



えんがわ

第44号

特別展 杉戸宿～杉戸宿と百間領の村々

平成24年度の宮代町郷土資料館の特別展は杉戸宿～杉戸宿と百間領の村々です。ここでは、杉戸宿と百間領の係わりについて説明します。杉戸宿と百間領は、江戸時代から明治時代の間で大きな係わりがあったのは助郷と飯売旅籠、第六区区務所の3つです。

助郷とは杉戸宿に届いた荷物の輸送のため、近在の村々の住民が杉戸宿に行くことを言います。杉戸宿では、常に人足25人と馬25匹を用意しておく義務がありました。しかし、日光門主（日光輪王寺トップ）や仙台藩伊達家、会津藩松平家などの大名、幕府の役人が日光道中を通行する際は人足約200人や馬約200匹が必要なため、近在の村人が馬と共に杉戸宿を助けました。

元治元年（1864）4月27日の杉戸宿では人足1108人、馬203人が必要でした。この時通行したのは、御目付の浅香伝一郎と御朱印の押山保次郎・今井小六・大井三郎助という幕府の役人でした。ちなみに、この時、百間村（百間本村・百間西原組・百間金谷原組）では人足69人、馬18匹を出しています。

2つ目の杉戸宿と百間領の係わりは飯盛旅籠です。飯盛旅籠とは通常の旅館を平旅籠という

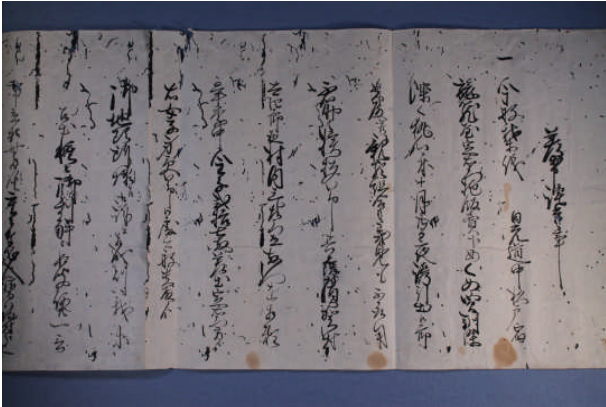
のに対し売春を行っていた旅籠を言います。杉戸宿は、粕壁宿や幸手宿に比べて多数の旅籠があり、非常に夜の街が華やかで栄えていたそうです。大規模な旅籠屋であった大塚屋や畳屋、釘屋、高館屋も飯盛旅籠でしたので、旅籠の殆どは飯盛旅籠でした。釘屋には十辺舎一九がその頭のよさを褒めた「はな」が、竹屋には傾城と呼ばれるほど美人の「夢野」がいました。ちなみに、この2人は百間中村の俳諧結社多少庵に属していました。



展示風景

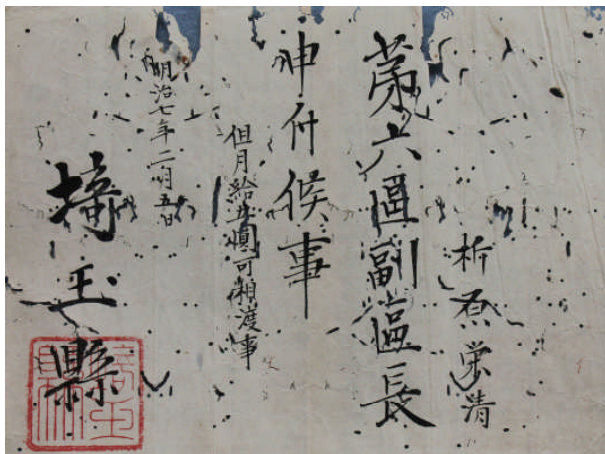
太田屋勘次郎抱えの「みよし」と百間村川島の小七との駆け落ち、白木屋定右衛門抱えの「くめ」や喜三郎抱えの「ふく」の身請けのこたな

ど、百間領の村々にとって杉戸宿は夜の遊興の場でありました。この他、助郷で杉戸宿に行った若者が飯盛旅籠から帰らなくなり、農業に支障が出るから飯盛旅籠を営業停止にしてもらいたいという願い書きも確認できます。



白木屋抱え「くめ」の身請け証文

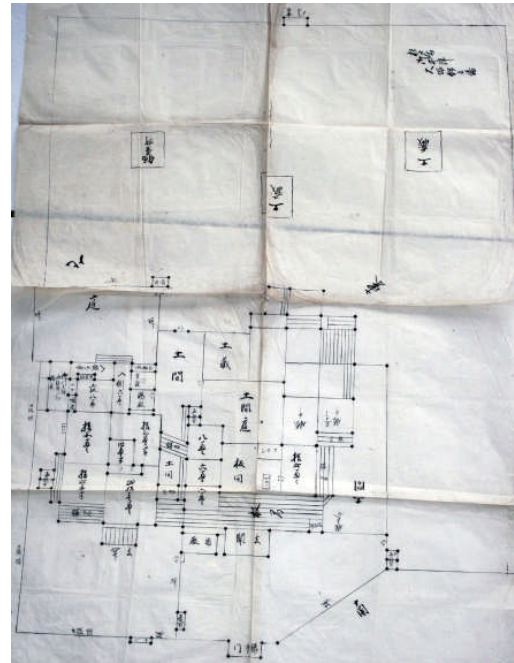
3つめの杉戸宿と百間領の係わりは埼玉県第六区区務所の存在です。明治4年に旧埼玉県（現在の南北埼玉郡市・北足立郡市・北葛飾郡市）が設立された時、県内を24区に分け、杉戸宿を中心とする百間村等は第六区に所属しました。そして、問屋場であった建物を区務所として利用しました。ここには戸長の杉戸宿の鈴木彰平（元杉戸宿名主）や戸長心得の百間村の折原栄清（元百間村名主）が勤めていたようです。明治8年には区長に島村新右衛門（島村鬼吉の子で島村盛助の祖父）、副区長に渡辺長左衛門（初代杉戸町長）等が勤めていました。杉戸と宮代が同じ行政区となったのはこの区務所が最初で最後といえます。



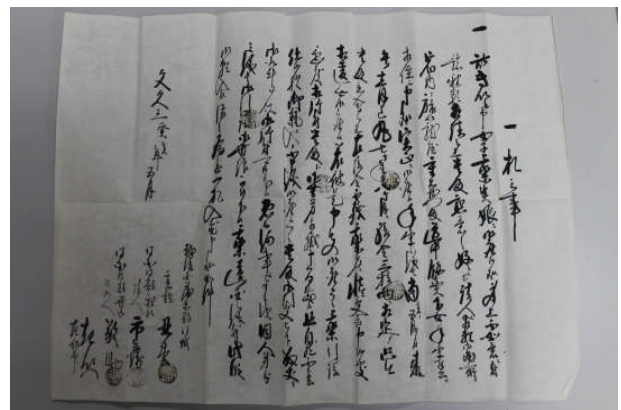
第六区副区長任命状

今まで杉戸町と宮代町の係わりについて述

べてきましたが、展示は杉戸宿の形成や本陣、脇本陣、旅籠、商家、問屋場、高札場の説明及び場所の推定、名主や問屋の役職の変遷、杉戸宿を訪れた渡辺崋山や十辺舎一九の話、飯盛旅籠や助郷、区務所の事などを分かりやすく展示していますので是非ご覧ください。



杉戸宿本陣絵図



さいの重右衛門旅籠屋への飯売り女奉公人請状



杉戸宿家並絵図

歴史ウォーク

特別展関連講座の一環として、10月27日(土)に「杉戸宿御伝馬道を行く」と題して、宮代町の古文書から分かる御伝馬道を歩いて杉戸宿の間屋場まで行きました。

図書館でガイダンスを行い、笠原沼のホツケ、山崎浅間神社を見学し、浅間神社から南へ御伝馬道に沿って歩きました。途中、道仏の稻荷神社、東小学校、そして一庵坊の庚申塔群を見学しました。さらに、清地橋を渡って旧道を通り、日光街道の清地に出ました。清地村と杉戸宿について見学し、助郷関係の手配所である問屋場(第六区区務所)へと向かいました。さらに、問屋場の裏側にある問屋場稲荷を見学し、解散しました。



宮代町内の伝馬道を歩く



問屋場稲荷神社にて

郷土史講座

郷土史講座は特別展の開催にあわせて、宿場の制度、杉戸宿について、助郷関係について開催しています。

11月10日は「近世宿駅制度と街道」と題して交通史学会の波多野富信氏に講演をいただきました。五街道と脇街道、宿駅の設定と機能、宿役人と村役人、助郷制度などについてのお話をうかがいました。11月24日は、「日光道中杉戸宿」について、春日部市郷土資料館の実松幸男氏から杉戸宿の成立と歴史、宿の人々の様子など具体的な内容をお話いただきました。12月1日は、元宮代町史編集委員の林貴史氏から「助郷 杉戸宿と百間領」についてお話をうかがいました。



波多野富信氏「近世宿駅制度と街道」講演風景



実松幸男氏「日光道中杉戸宿」講演風景

次回の展示は季節展「おひなさま」です！

資料館では、毎年2月の半ば頃から4月にかけて、旧加藤家住宅におひなさまを展示しています。毎年楽しみに来館してくださる方も多く、好評をいただ



前回の展示風景（「宮殿づくり」のおひなさまです。）

資料館日誌抄

- 3月3日 企画展道仏北遺跡発掘出土品展Ⅱ（5月6日まで）
- 4月12日 小展示五月人形（6月29日まで）
- 4月26日 山崎南遺跡発掘（5月11日まで）
- 5月12日 企画展宮代紀行～山崎地区に行く（7月8日まで）
- 5月20日 図書館講演会職員派遣
- 5月27日 歴史ウォーク 山崎地区に行く
- 5月29日 吉川郷土史会見学（20名）
- 6月10日 学園台自治会見学（74名）
- 6月19日 星谷遺跡発掘調査（7月5日まで）
- 6月21・22日 須賀中学職場体験学習（1名）
- 6月27～29日 百間中3days チャレンジ（3名）
- 7月5・6日 杉戸中学チャレンジ2days（3名）
- 7月14日 企画展夏の思い出（10月14日まで）
- 7月28・8月24日 土器づくり・土器焼き（20名）
- 8月2・3・8・10・17・21・23日 郷土資料館へ行こう（165名）
- 8月1日 伝承服部氏屋敷跡発掘調査（8月2日まで）
- 8月4日 かやぶき民家で昔話を聞く（20名）
- 8月19日 蓮田市学芸員実習見学（2名）
- 8月19日 こども文化創造事業（40名）

いております。また、大切な人形を資料として寄贈してくださる方もあり、収蔵品としてのおひなさまも年々増えつつあります。

平成23年1月から4月半ばにかけて、平成22年度第3回企画展として「おひなさま」の展示をおこなったところ、ご好評をいただきました。例年開催を希望される声も届きましたことから、季節展として開催させていただくことになりました。

これまで資料館に寄贈されたおひなさまの中から、段飾りのおひなさまを中心にいくつか展示します。装束やお顔など多少の違いはありますが、いずれも華やかな雰囲気を持ち、その人形が贈られた子どもの幸せを願う想いが込められたものです。展示室にいくつものおひなさまが並ぶ展示は、大変華やかな雰囲気になります。

この季節展の会期は1月5日（土）から3月10日（日）までです。期間中の休館日は1月7・15・21・28日、2月4・12・18・25日、3月4日となります。

寒い時期ではありますが、皆様お誘いあわせのうえお越しくださいますよう、お待ち申し上げます。

- 9月12日 中遺跡試掘調査
- 9月20日 伊勢崎市教育委員会見学（10名）
- 10月11・12・24・31 春日部市文化財めぐり見学（96名）
- 10月27日 歴史ウォーク 御伝馬道（26名）
- 11月7日 山崎遺跡試掘調査
- 11月10・17・日 郷土史講座 杉戸宿（65名）
- 11月20日 民生委員見学（50名）
- 11月25日 クリーンウォーキング講師職員派遣
- 11月27日 百間小4年生見学（95名）
- 11月30日 社協講演会職員派遣
- 11月28日 百間中学島村盛助関係（4名）
- 12月5日 笠原小4年生見学（43名）

宮代町郷土資料館だより えんがわ 44号

発行日 平成24年11月30日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>